

一般教養について

—竹内 良知—

自主性と人の心を
論するときに古前にさかのびた
けれども、大学教育においても
つとも困難な問題は、専門の細分
化にもとづいておるる學習の自主
性と通達性との喪失といふべきで
ある。現代の知的、經濟的生活の
諸条件はますます徹底的な専門化
をひきおこし、専門家はその専門
の狭い枠の内部に閉じこめられ
る。そのような状況のもとでは、
學習の目標を自動的に決定し選択
すがことがますます困難になつて
いる。研究は細分化することによ
り進歩する。しかし、同時に、り立つものだからである。それ
で、教師たちは一般教養の必要性
を唱へる機会は見失われがち
である。

の進歩とともに結びついて教育がおこなわれることを要求してい。る。現代社会では、学問的研究者も専門的職業人も科学の研究の成果と方法を学ぶことによって自分を訓練していくなければならないのである。学問的研究者は、さういふことを前提にしながら、専門的職業の人たちは自分の専門で訓練すること

そればかりではない。職業の専門化と研究の細分化は連帯性を入りから奪い去る。C・P・スノーは自然科学者ないし技術者と人文系の専門家とのあいだの交通不成、すなわち人間の全体性の確立教諭は、本来、人間の全面的形

に、研究領域や職業的専門の選択が経済的価値によって測られる有能性にもとづいてなされるにすれば、その選択はますます自主的ではなくなる。そして、こうした自己の喪失から、人類や社会にいたずら意識されない無責任が生まれる。しかし、現代社会における人間の自己隠れを克服し、学

自主性と連帯性

人の心をあらゆるものに

新しい教義のめざす第一の課題は、徴収された金には、全体的な人間としてと國民とのいとなみに自己の位置を選擇する能力が形成されなければならない。第一の課題は、通達性の確立である。ボール・ランシュヴァンは「職業は人間を分離するが、教養は人間を結びつける」と言っているが、教養は「人間を結びつける」ものでなければならない。新しい教育概念といふ

意味が内在している。一般教育といふ概念を堅持すれば教養の範囲は成立しない。そして、教養の範囲は二つの意味を同時に充たすことを要求している。一つは時間的、空間的にわたることで、もう一つは文化的、精神的にわたることである。むろん、全面的な教養といふことは、あらゆる分門を通じてあるところを意味する。したがつて、そななよは現代の文化状況においてはすでに不可能である。し、それを試みたところで、無責任なディレッタントイズムに終り

ソシニヴァンは述べている。教義は、人間を全体のなかの正しい位置に置く。そこにおき、空間と時間のなかで他の人間に結びつけながらを体験する。したがって、諸個人間または諸集團間の相違を理解させものであり、この相違の認識を通じて、人間を「道徳的法則の本質的なものを確立成している」連帯にみちびくものである。その意味で、教義は「全体的人間」の実現にかかるものである。

望している企業を訪問し、その業態と内容に関する知識を深め、働きがいのある生涯の職場を選択決定し、その実現を目指して、万全の準備を整えて行くべき季節である▼さらに、教員にとっては、十日は、秋の学年シーズンの最中である。各教員が今日まで研鑽努力して取得した成果を、専攻を同じくする研究者に発表し、その評論と批判を仰ぎ、学問の水準の一層の向上に貢献する季節である。また、研究会議が開催され、さ

わるほかない。もう一つは、すべての人に人間的価値を与える共通性という意味である。
眞の一般教養は人間の心を自分自身以外のあらゆるものに——自分の専門の狭い枠を越えて、すべてのものに開かせるものである。
一般教養とは、空間的にも時間的にも、個人に他の人間との連絡性を、同じ世代の人間ばかりでなく、過去の世代や未来の人間との連絡性を十分に感じさせるものである。この二つは、文教がうなぐこと

千里敗
秋の
馬肥ゆる秋あるいは、收拾の秋じ
われている。われわれ関西大学のす
べての構成員にとつても、それれ

本号の内容

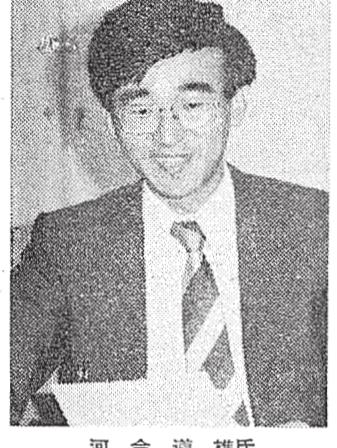
国社会科学院から来学 第74回産業セミナー
第10回経政公開講座 学生請願体行事
定 章の裏表 大学院合格者決定
連報 第125号発行 日本統計学会
の展示 榎本章之助名譽教授を偲んで 研究
室めぐり 計報▼4・5面 席談会「就職へ
の道」▼6面 近畿地区 タビコであるき▼7・8
面 図書館の窓口から 文献の相互利用▼8
面 隨想 世界の大学 新刊紹介 編集後記

の三つの目的と機能とを有機的に統一することができるは、自主性と連帯性をとりもどすとする学生の努力と教師の努力との協同によってであつた。

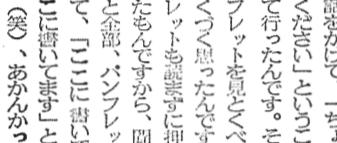
らに、討論に参加する上に通じて、各人の研究分野についての最新の情勢を明確に把握し、研究意欲の一層の増進を促がすべき好期である。すべての閃人が、この好期にあたり、身心ともに蒸発した日々を過ぎ、それることを誓ふ。



井 建



井 建



井 建

女性にはなお狭い門

ゼミの勉強はまじめに



宮谷 義六就職部長



宮谷 義六就職部長

「女性にはなお狭い門」
と書かれた新聞記事の写真。

女性にはなお狭い門
と書かれた新聞記事の写真。

女性にはなお狭い門
と書かれた新聞記事の写真。

女性にはなお狭い門
と書かれた新聞記事の写真。

女性にはなお狭い門
と書かれた新聞記事の写真。

就職への道・先輩が語る就職へのアドバイス



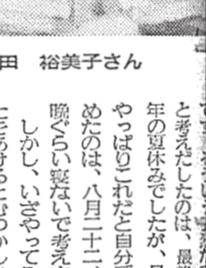
三上 正弘



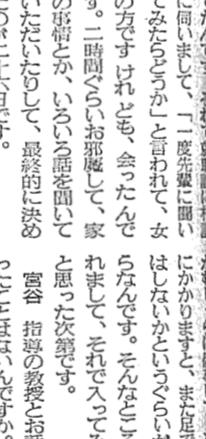
三上 正弘



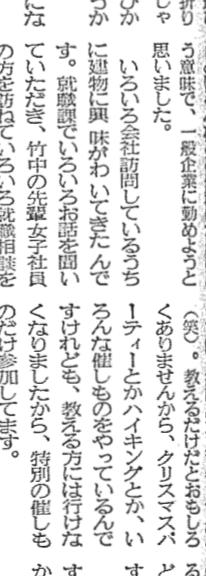
三上 正弘



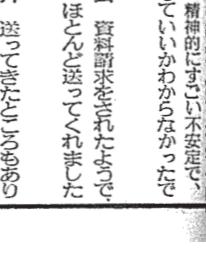
三上 正弘



三上 正弘



三上 正弘



三上 正弘

就職会

小幡 義章	出席者
(56年度卒業部等)・大海上火災保険㈱	辻井 真砂子
(56年度卒業部等)・朝日放送㈱	下田裕美子
(56年度卒業部等)・サトリー㈱	井田 健二
(56年度卒業部等)・鉄道ダイヤー	河合 道雄
松下電器産業㈱	宮谷 義六
就職部長	就職部次長(同)
就職部次長(同)	鉄井 良男

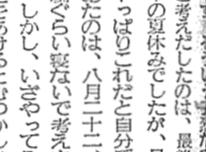
小幡 義章	出席者
(56年度卒業部等)・大海上火災保険㈱	辻井 真砂子
(56年度卒業部等)・朝日放送㈱	下田裕美子
(56年度卒業部等)・サトリー㈱	井田 健二
(56年度卒業部等)・鉄道ダイヤー	河合 道雄
松下電器産業㈱	宮谷 義六
就職部長	就職部次長(同)
就職部次長(同)	鉄井 良男

「個性」を売り込む

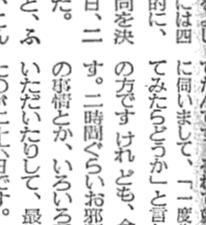
就職活動 家族や指導教授と相談



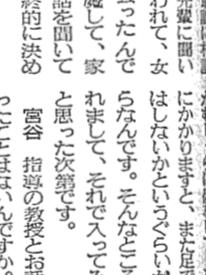
三上 正弘



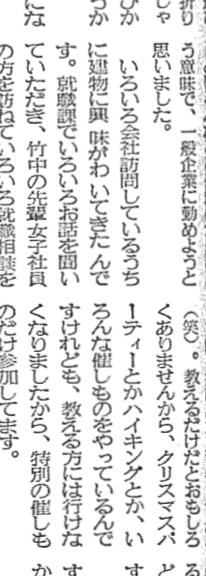
三上 正弘



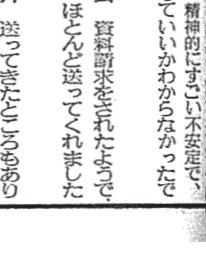
三上 正弘



三上 正弘



三上 正弘



三上 正弘

就職活動 機と相談手

会社決定の動機と相談手

会社決定の動機と相談手

会社決定の動機と相談手

就職活動の相談手

就職活動の相談手

就職活動の相談手

就職活動の相談手

就職への取り組み時期

就職への取り組み時期

就職への取り組み時期

就職への取り組み時期

就職への取り組み時期

就職活動の相談手

就職活動の相談手

就職活動の相談手

就職活動の相談手

就職活動の相談手

就職

